

緑を未来へ ～森林湖沼環境税～

湖沼のはたらき

霞ヶ浦(西浦、北浦、常陸利根川)をはじめとする県内の湖沼は、飲料水や工業用水、農業用水の水源としてだけでなく、レクリエーションの場として、また、私たちの心の安らぎの場として毎日の生活に重要な役割を果たしています。



湖沼・河川の水質保全のための目標

平成25～29年度の5か年計画

- 生活排水適正処理の推進：高度処理型浄化槽設置補助…**6,000基**
- 農地・畜産からの汚濁負荷の削減：循環かんがい施設の整備…**5カ所** ほか

水質保全対策の実施により年間汚濁負荷量を**COD約360トン/全窒素約180トン/全りん約17トン**削減します。これは、平均的な一般家庭51,000世帯分の汚濁(COD)負荷量(1年間)に相当します。

※COD…化学的酸素要求量。水質汚濁の原因となる水中の有機物の量を示す。

森林湖沼環境税PRキャラバンを実施します！

本県の大切な森林や湖沼・河川について、県民の皆さまとともに考えるため、森林湖沼環境税PRキャラバンを県内各地で実施します。ご来場の方やアンケートにご協力いただいた方には、プレゼントを用意しています。ぜひ、お越しください。



開催スケジュール

| 開催日 | 時間 | 会場 |
|----------|---------|-------------------------------------|
| 7月9日(日) | 10時～17時 | イオン鹿嶋店(鹿嶋市宮中290-1) |
| 7月22日(土) | 10時～16時 | 日立シビックセンターエコフェス2017会場内(日立市幸町1-21-1) |
| 7月30日(日) | 10時～17時 | イオンモール下妻(下妻市堀籠972-1) |
| 8月20日(日) | 10時～17時 | イオンモール水戸内原(水戸市中原町字西135) |
| 8月27日(日) | 9時～17時 | イオンモールつくば(つくば市稲岡66-1) |

森林湖沼環境税とは？
 県民共有の財産である森林や湖沼・河川を良好な状態で次世代に引き継ぐため、平成20年度から導入している県民税です。
 皆さまに納めていただいた森林湖沼環境税を活用して、荒廃した森林の間伐や高度処理型浄化槽の設置促進など、自然環境の保全に取り組んでいます。

特集

いばらきの美しい水と

森林のはたらき

山岳林・平地林などの森林は、水源の涵養や土砂災害の防止のほか、快適な生活環境の保全、二酸化炭素の吸収など、私たちの暮らしに重要な役割を果たしています。

森林の保全・整備のための目標

平成25~29年度の5か年計画

緊急に手入れが必要な森林の間伐・荒廃した平地林などの整備…**9,000ヘクタール**

森林を整備することにより水源の涵養など森林の公益的機能の向上を図ります。また、空気中の炭素量を約**43,000炭素トン**削減します。これは、平均的な一般家庭29,500世帯分の炭素排出量（1年間）に相当します。

※炭素トン…炭素の重さを表す単位のこと。

森林湖沼環境税のしくみ

納める人

県内に住所や事業所などがある個人、法人（※）
※住民税（県民税均等割）を納める人と同じです

納める額

[個人] 1,000円/年
[法人] 県民税均等割額の10パーセント/年

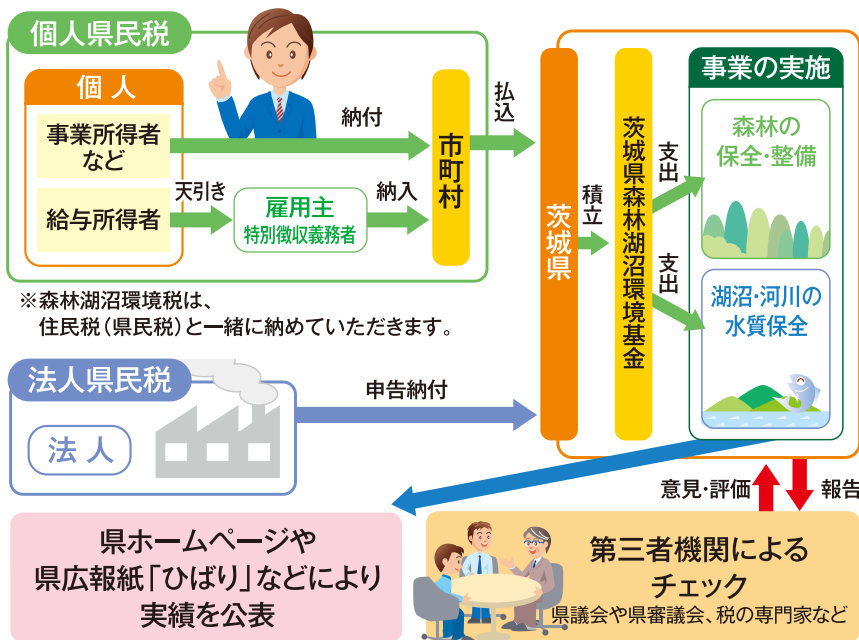
納める期間

平成20年度から平成29年度まで

お問い合わせ先

- 税のしくみに関すること
 - ☎ 県税務課 ☎029(301)2418
 - 税の使いみちに関すること(森林)
 - ☎ 県林政課 ☎029(301)4021
 - 税の使いみちに関すること(湖沼・河川)
 - ☎ 県環境対策課 ☎029(301)2968
- 📄 「茨城県 森林湖沼環境税」で検索

納税から事業実施までの流れ



した取り組み

平成25～28年度
4年間の実績



湖沼・河川の水質保全

生活排水など汚濁負荷量の削減

- 高度処理型浄化槽の設置などへの補助 (4,800基)
- 下水道や農業集落排水施設への接続を支援 (下水道:1,722件、農業集落排水:633件)
- 工場・事業場の立入検査 (2,152事業所)

農地・畜産対策

- 農業排水を農業用水として再利用する循環かんがい施設を整備・管理 (8カ所)
- 堆肥の広域流通を促進

県民参加の水質保全活動を推進

- 市民団体の環境保全活動を支援 (98団体)
- 小・中学生などを対象に湖上での環境学習を実施 (1,199回、参加人数:36,912人)
- ヨシ帯の保全活動を支援 (1地域協議会10活動組織)

水辺環境の保全

- 湖水や河川などを直接浄化する実証試験
- アオコ抑制装置を設置し悪臭被害などを防止
- 未利用魚の回収 (1,055.8トン)
- 霞ヶ浦・北浦の水質改善に向けた試験研究



高度処理型浄化槽の設置



流域外の農地への堆肥散布



霞ヶ浦湖上体験スクール



ヨシ帯の保全活動



アオコ抑制装置の設置



未利用魚の回収

効果

平成25～28年度の4年間の
事業による年間負荷削減量

COD*

約 **189**トン

全窒素

約 **120**トン

全りん

約 **14.9**トン

平均的な一般家庭が1年間に排出する負荷量(COD)の約 **27,100世帯分**に相当

※COD…化学的酸素要求量のこと。
水質汚濁の原因となる水中の有機物に
関する指標の一つです。

のために必要なこと

保全するためには、
べき課題が
ています。

湖沼・河川の 水質保全

- 生活排水未処理世帯のさらなる解消
- 農地・畜産からの汚濁負荷削減
- 水質保全に対する意識の醸成
- 霞ヶ浦のりん低下に向けた対策の推進

森林湖沼環境税を活用

森林の保全・整備

森林環境保全のための適正な森林整備の推進

- 荒廃した森林の間伐 (5,062ヘクタール)
- 間伐作業道の開設 (289キロメートル)
- 身近な平地林や里山林の整備 (528ヘクタール)
- 海岸防災林の機能強化
(広葉樹などの植栽や下刈62.3ヘクタール、
松くい虫被害木伐採5,442立方メートル)



間伐が実施されたスギ林



整備された平地林

いばらき木づかい運動の推進

- 県産木材を使用した木造住宅建築への補助
(1,067戸)
- 公共施設などの木造化・木質化 (18施設)
- 学校などへの木製品 (椅子や机など) の導入
(122施設)



県産木材を使った住宅の建築



公共施設の木質化

県民協働による森林づくりの推進

- 森林の働きや重要性などについての
普及啓発活動
- 地域の森づくり活動などの支援 (81団体)
- 森林・林業体験学習 (参加人数:36,856人)
- 筑波山のブナ林保護活動



普及啓発活動



森林・林業体験学習

効果

平成25~28年度の4年間の事業により
増加した年間炭素吸収量 **約22,980**炭素トン

平均的な一般家庭が1年間に排出する炭素量の約 **16,000**世帯分に相当

間伐などの森林整備の効果を、水源涵養・二酸化炭素吸収などの森林の公益的機能の観点から金額換算すると約**88億円分**に相当

より良い自然環境づくり

森林の 保全・整備

- 間伐や再生林の推進による森林資源の循環利用
- 松くい虫被害により衰退した海岸防災林の再生
- 住宅や公共施設などへの県産木材の利用拡大
- 県民協働による森林づくりの推進

森林と湖沼・河川を
取り組む
まだ残され